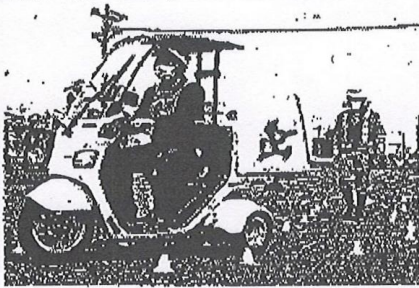


### 安全な宅配指導

厚木署が運転講習

バイクによる食事の宅配サービスの利用増を受け、厚木署は21日、厚木中央自動車学校で、配達員への運転指導を行った。



狭い道を安全に走るコツを学ぶ配達員(21日、厚木署で)

会によると、宅配サービスの需要はコロナ下で倍増しており、バイク事故も増えている。

会場では、警の白バイ隊や県警の女性白バイ隊「ホワイトエンジェルズ」の隊員ら計5人が講師を務め、配達員24人に車両点検のポイントや走行中の注意点を指導した。

配達員になって約1か月という藤川町の山内茶味さん(48)は「配達では急いでいることも多いので気を引きしめたい。低速でバランスをとる講習はためになった」と話していた。

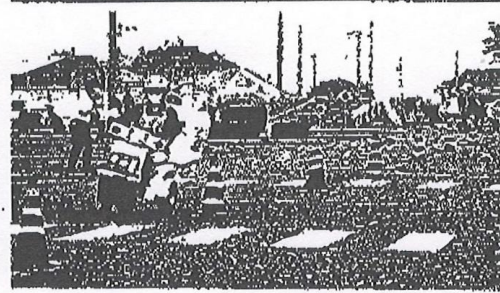
### 6月22日 神奈川

### 宅配業者ら対象

### 安全運転講習会

厚木 コロナ禍で需

要が伸びる宅配サービスの事業者が関係する二輪車事故を防ごうと、厚木署は21日、厚木中央自動車学校(厚木市及川)の教習コースを使った安全運転講習を行った。写真。



した講習物を道路を委ねながら通行する講習では、ホワイトエンジェルズの隊員が「重心移動とアクセル、ブレーキのタイミングが大車」などと指導。細い一本道では「視線を足元でなく、遠くに向けると安定する」などとアドバイスした。

署によると、今年5月末時点で、県内の業務目的などの二輪車事故は前年同月比42件増の1655件。講習への参加を呼びつけた全日本デリバリー業安全運転協議会の村川淳二理事は「講習を通じて無事故を目指す人も、もう一度安全運転の基本を確認してほしい」と話した。